

静岡文化芸術大学フェアトレード憲章

多文化共生を謳う浜松市では、外国にルーツを持つたくさんの人々が暮らし、共生のための取組みがなされている。しかし他方で、世界で深刻化している貧困や格差の問題を私たちが痛切に感じつづけることは容易ではない。

フェアトレードとは、いわゆる開発途上国の農家や手工業者など、立場の弱い小規模生産者の自立と生活改善のため、公正な価格で取引を行なう取組みである。日常の買い物を通してその取組みに参加できることから、近年「身近な国際協力」として、私たちの大学はもとより、浜松市でも多くの取組みが見られるようになった。また、フェアトレードの理念は、地産地消や障がい者があつかう商品購入の取組みとも通じるものである。

私たちがフェアトレードの理念に深く共感し、全ての人々の平等を訴えつづけることは、私たち自身の未来を育むことでもある。しかしまだ、フェアトレードの認知度は低い。そのうえ、フェアトレード商品は値段が高く手を伸ばしにくいと感じる人も多い。私たちは、フェアトレードがより広く理解され、「あたりまえ」になる社会を目指し、学内で、また地域社会で一層の活動を続ける。

私たちは、フェアトレードの理念を推進する。そして、フェアトレードの理念が根付くことを願う。